

# フューチャーイノベーションセンターの 取組みについて

工学研究科附属  
フューチャーイノベーションセンター  
センター長・教授 倉敷 哲生

## 1. はじめに

工学研究科では、令和2年度に附属フューチャーイノベーションセンター(Center for Future Innovation : CFi)を創設しました。本センターは、社会課題やニーズに対応しながら、課題解決と未来社会に資する新たなイノベーションを生み出す工学研究科の分野横断型の研究開発や新学際領域の開拓、あるいは最先端の学術研究を支援する組織です。特に、最先端の学術分野を牽引する拠点形成の推進、ベンチャーを視野に入れたイノベーション育成の支援、社会課題解決を目指した社会共創への取り組み、連携型融合研究を展開する場の提供、次世代リーダーの育成、教員の研究活動のマネジメントの援助等を通じて工学研究科全体の研究力向上の支援を図っています。また、分野横断型教育プログラムの提供や産学官共創コース、学生による課題探求のサポート等を通じた教育力向上の推進も目指しています。本稿ではその取組みの一部をご紹介します。

## 2. 各領域における取組み

本センターでは次の4つの領域を設定し、それぞれのミッションを掲げております。

### [1] テクノアリーナ領域：

社会課題やニーズに対応し、未来社会創出に貢献しつつ、新たなイノベーションに繋がる分野横断型の研究開発領域の開拓および関連教育を柔軟に実施する「テクノアリーナ」の企画運営

### [2] 研究力企画領域：

テニュアトラックの推進や若手の研究支援による、次世代のリーダーとなる研究者の育成や、産学官連携の促進、URAの導入とInstitutional Research (IR)等の活動を通じた工学研究科全体の研究力強化の推進

### [3] 教育力企画領域：

産学官共創教育や分野横断型の高度副プログラムの実施、学部の共通科目の支援、学生による課題探求を支援する推進プロジェクト等の運営等を通じた工学研究科における教育力向上の実践

### [4] 経営力企画領域：

上記の項目における活動を円滑に実行するための、同窓会組織や民間との関係を通じた財政基盤の強化

この中でも特に、分野横断型研究・教育プラットフォームとして位置づけているテクノアリーナ構想の実現は工学研究科全体の総意であり、センター設立と同時に体制構築の準備を開始しました。それぞれの部門（最先端研究拠点部門、インキュベーション部門、若手卓越部門）に所属する拠点長、グループ、若手教員を募集し、テクノアリーナ運営

## 工学研究科発

委員会において審査を行い、各部門とも本格的に活動されています。多くのセミナー、シンポジウム、研究会などが開催され、工学研究科内および学内の各部局との横断型の研究交流への活性化に繋がっています。

また、経営力企画領域では、在学生保護者へのダイレクトメールによるアプローチ、新たな顕彰制度の設置、専属ファンドレイザーの配置、専攻同窓会や大阪大学工業会との連携等、学外からの寄付の獲得に向けた方策にも注力しています。

### 3. 工学研究科の研究者支援に向けて

工学研究科の研究力向上を支援すべく、大型プロジェクト獲得への支援、科研費獲得の支援等を図るため、共創機構吹田分室や経営企画オフィスとの連携を強化し、様々な競争的資金の獲得に向けて模索を行っています。「工学研究科の次の10年を担う研究者の支援」を掲げ、図1に示す工学研究科の研究者・学生の支援に向けてフェーズ1～4の多岐に亘る活動を推進しています。

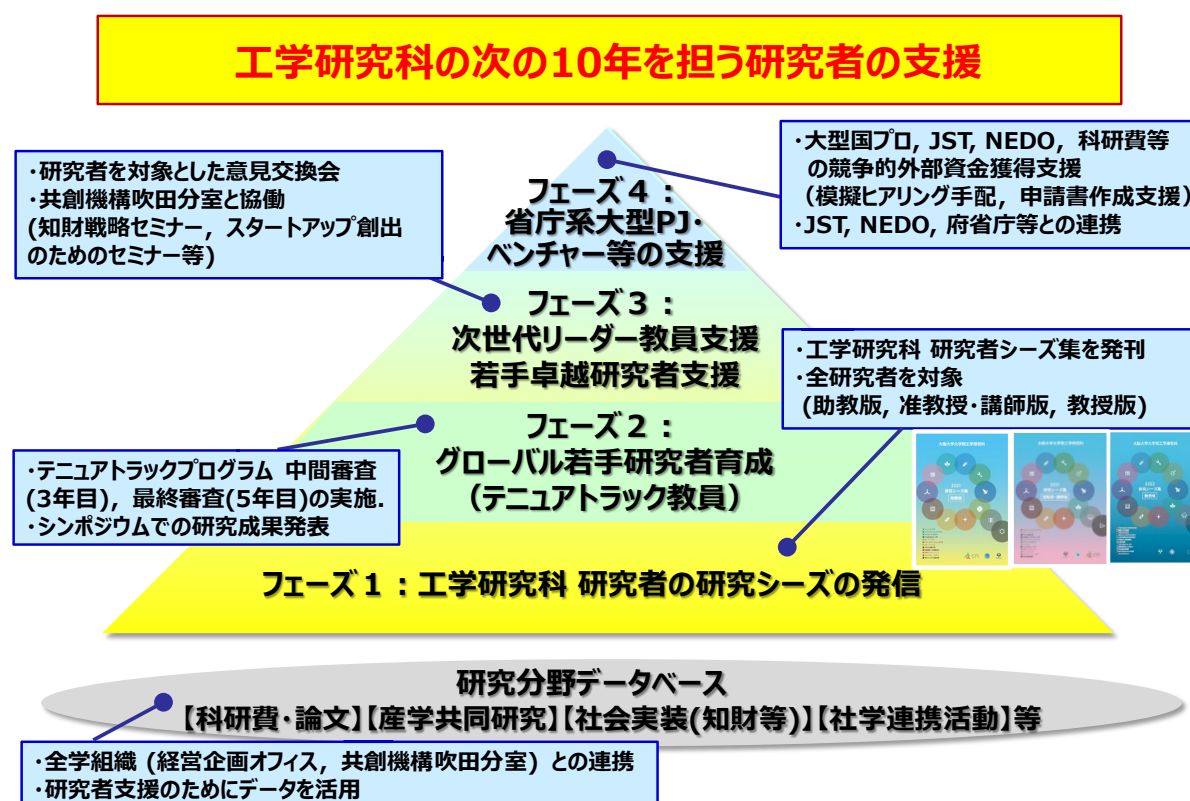


図1 工学研究科の研究者支援に向けて

フェーズ1では、工学研究科の助教、講師、准教授、教授の各教員の研究概要を記した研究シーズ集を発刊しています。研究者の研究内容とポイント、それぞれの業績や連絡先、領域やSDGsとの関わりなどの情報をまとめています。研究シーズや成果を発信することは、関連する研究者や企業、省庁・自治体関係者等との繋がりの中から新たな課題を見出して自身の研究に還元され、さらなる展開や新たな価値創造への発展が期待されます。なお、研究シーズ集の電子版もCFiのHPにて公開しています。検索等が容易ですので、是非、ご活用頂きたいと思っております。(HPのURLは本稿の末尾をご参照下さい。)

## 工学研究科発

フェーズ2では、グローバル若手研究者の育成として、テニュアトラックプログラムを推進しています。テニュアトラック制により、国際的/社会的にグローバルに評価される優秀な教員の育成を支援しており、国際公募により採用したテニュアトラック教員は累計54名（2024年3月現在10名在籍）となっています。自立した研究環境を持ち、原著論文や国際会議の発表だけでなく、多数の競争的資金獲得など多くの実績を挙げられています。

フェーズ3では、若手研究者を対象とした意見交換会の実施や、研究成果の社会実装の支援などを目指しています。特に優れた研究者（23名）へは「テクノアリーナ次世代リーダー教員」の称号を付与し、高いモチベーションの下で今後の大阪大学を担う活動ができるような支援を行っています。さらに、JST 創発的研究支援事業の採択者などの卓越した研究者（7名）へは「テクノアリーナ若手卓越教員」の称号を付与し、直接研究費の支援や間接経費の一部返還等5年間の支援を行っています。

フェーズ4では、省庁系大型プロジェクトへの申請やベンチャー等の支援を行っています。大型外部資金の獲得支援として模擬ヒアリングや申請書作成支援も実施しています。工学研究科の未来戦略室、社会連携室、教務学務国際室や、全学組織である経営企画オフィス、共創機構とのシームレスな連携を進め、①国際研究力の強化支援、②産学連携・社会学連携など多様な社会実装の支援、③教育・研究プラットフォームの強化、を本センターのミッションとし活動を推進しています。

さらに、工学研究科の研究活動の学内外への広報活動も強化しています。特に、テクノアリーナの概要を分かり易く示したパンフレット作成も手がけ、工学研究科内の専攻を超えた交流を図ると共に、工学研究科の外に向けて研究発信を推進しています。今後も工学研究科を担う研究者・学生を力強くご支援させて頂きたいと思っております。

#### 4. おわりに

本センターは、従来の工学分野から急激に変遷している現在・未来の工学分野に対して柔軟かつ弾力的に対応し、最先端の研究拠点形成、研究者交流、若手人材支援を柱に、専攻の枠組みを超えた研究教育支援と、工学研究科の外に向けた成果発信、さらには工学研究科内外のインターフェースの役割を果たしながら、工学研究科の研究力アップとSDGsへの貢献、さらには産学官連携の推進の支援に尽力して参ります。工学研究科の構成員および学内外の関係者の皆様のご協力に改めて感謝致しますとともに、今後も本センターへのご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

なお、本センターのホームページの拡充も行っており、相談窓口も開設しております。研究者の探索や、産学連携の可能性のご相談など、お気軽に当センターHPよりお問い合わせ頂きたいと思っております。

(CFi HP) <https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/>

(生産加工 1993年卒 1995年前期 1997年後期)